

## ( 1 ) エネルギー

### 行動宣言 1 再生可能エネルギー<sup>1</sup>の利用や省エネルギーの取組を拡大します

人々の暮らしが便利になる一方、使用するエネルギーは増え、それに伴う二酸化炭素排出量は年々増加し続けており、特に家庭部門やオフィスなどで増加が顕著になっています。さらに、2013(平成 25)年 7 月に原子力発電所の運転等に関する新たな規制基準が施行され、全ての原子力発電所の稼働が停止している中で、火力発電の比重が高まり、二酸化炭素排出量が増加しています。

二酸化炭素排出量を削減するため、再生可能エネルギーの利用拡大、省エネルギーや節電の取組をさらに推進する必要があります。

#### 行動メニュー

##### 【個人】

1	太陽光発電設備や太陽熱温水器などを導入し、再生可能エネルギーを積極的に利用します。
2	地域で行われている太陽光、太陽熱、風力、水力、バイオマス <sup>2</sup> などの再生可能エネルギー源を活用する団体等の取組に参加するよう努めます。
☺ 3	古い機器の省エネルギー性能が優れている機器への買い替え、照明のこまめな消灯、待機電力の削減、H E M S <sup>3</sup> 等の導入によるエネルギーの「見える化」などに積極的に取り組みます。
4	自動車を利用または購入する際には、ハイブリッド自動車(HV)、電気自動車(EV)、燃料電池自動車(FCV)などエネルギー効率の高い自動車を選びます。
5	住宅の新築・リフォーム時には、専門家に相談し、「住宅の省エネルギー基準 <sup>4</sup> 」を満たす、断熱性能に配慮する等エネルギー消費の少ない住宅にします。

##### 【企業・行政・団体】

		企業	行政	団体
1	地域の太陽光、太陽熱、風力、水力、バイオマスなどの再生可能エネルギー源を活用する事業を積極的に進め、エネルギーの地産地消に努めます。			
2	河川水や下水の熱、工場等の排熱などの未利用エネルギーの活用を図ります。			
3	古い機器の省エネルギー性能が優れている機器への更新、使用していないフロアの照明の消灯や空調の停止、B E M S <sup>3</sup> などの導入によるエネルギーの「見える化」と設備・機器の制御などに積極的に取り組みます。			
4	自動車を利用または購入する際には、ハイブリッド自動車(HV)、電気自動車(EV)、燃料電池自動車(FCV)などエネルギー効率の高い自動車を選びます。			

		企業	行政	団体
5	燃料電池自動車（FCV）などの普及を進め、再生可能エネルギーの利用や、省エネルギーに取り組む県民や事業者を支援します。			
6	地球温暖化防止活動推進センター、ボランティアとの協働やイベント等の開催を通じた情報提供、人材の育成、アドバイス等の普及啓発を積極的に進めます。			
7	建築物の新築・リフォーム時には、「建築物の省エネルギー基準 <sup>4</sup> 」を満たすエネルギー消費の少ない建築物とするよう努めます。			

## 用語説明

### 1 再生可能エネルギー

再生可能エネルギーは、エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律で「エネルギー源として持続的に利用することができる」と認められるもの」として、太陽光、風力、水力、バイオマスなどが規定されています。資源が枯渇せず繰り返し使え、発電時や熱利用時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しない優れたエネルギーです。

（参照：資源エネルギー庁 HP）

### 2 バイオマス

バイオマスは、動植物などから生まれた生物資源の総称で、これらの資源からつくる燃料をバイオマス燃料と呼びます。つくられる燃料は、ペレットなどの固体燃料、バイオエタノールやBDF（バイオディーゼル燃料）などの液体燃料、そして気体燃料と様々なものがあります。（参照：資源エネルギー庁 HP）

### 3 HEMS、BEMS

情報通信技術（ICT）を活用して、電気やガスなどのエネルギー利用状況を「見える化」し、制御するシステムです。HEMSは住宅向け、BEMSはビルなどの建物向けです。

### 4 住宅・建築物の省エネルギー基準

住宅・建築物を建てる際には、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）」の省エネルギー基準に則って、省エネルギー措置をとることが求められています。省エネ措置の方法としては、高効率機器や太陽光発電設備の導入、外皮の断熱化、日射の遮蔽などがあります。（参照：国土交通省 HP）

## 事例紹介

### メガソーラーの設置

県内には、2015（平成 27）年 1 月現在、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、厚木市、座間市、愛川町、大井町において、出力 1 MW（1,000kW）以上の大規模な太陽光発電施設であるメガソーラーが設置されています。



愛川太陽光発電所  
愛称：愛川ソーラーパーク  
“さんてらすTOBISHIMA”  
(出典：神奈川県 HP)



さがみはら太陽光発電所  
(愛称：ノジマメガソーラーパーク)  
(出典：相模原市 HP)



㈱古川大井町太陽光発電所(愛称：きらめきの丘 おおい)  
(出典：きらめきの丘 おおい(古川メガソーラー)HP)

### 地域の再生可能エネルギー源を活用する取組

#### ・「市民立太陽光発電所」、「茅ヶ崎おひさまクレジット」

NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワークは、市民・事業者から寄付を募ったり、助成金を活用した「市民立太陽光発電所」として公共施設等に太陽光発電システムを設置し、講演会などにより普及活動をしています。また、茅ヶ崎市と協働で、太陽光で発電した電力のうち自家消費分の環境価値を市内企業等に売却し、その利益を事業参加者に還元する「茅ヶ崎おひさまクレジット」などを行っています。

#### ・小水力発電の検討、市民ファンドを活用したメガソーラーなどの設置

小田原市の地元企業38社が出資した法人であるほうとくエネルギー株式会社は、大正時代につくられた小水力発電跡地の整備に参加したり、地元の市民ファンドを活用した太陽光発電事業（メガソーラー、公共施設屋根貸しソーラー）などを行っています。

#### ・公共施設のクリーン電力化（地産地消モデル）

厚木市は、メガソーラーで発電した電力を購入する新電力事業（PPS）を介し、公共施設にクリーンな電力を供給しています。自治体、発電事業者、PPSが連携した、エネルギーの地産地消モデルの先進事例となるものです。

## コラム

### 分散型エネルギーシステム

かながわスマートエネルギー計画では、地域において多様な分散型電源（太陽光等の再生可能エネルギーを利用する発電設備、ガスコージェネレーション、水素を利用する燃料電池等）を積極的に導入するとともに、情報通信技術（ICT）等を活用したエネルギー・マネジメント・システム（EMS）を通じて、エネルギー需給を総合的に管理するシステムを表す言葉として使っています。



### ガスコージェネレーション

天然ガスやLPガス等を燃料として、エンジンやタービン等の方式により発電し、その際に生じる排熱も利用する熱電併給システムであり、排熱は冷暖房や給湯などに利用できます。発電に加えて排熱を有効活用すること、消費地の近くに設置できるため送電ロスがほとんどないことから、エネルギー効率が高く、省エネとCO<sub>2</sub>削減に貢献できます。

### 家庭でできる節電の取組例

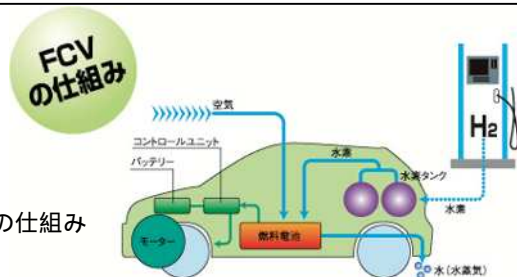
- ・エアコンは、無理のない範囲で利用を控え、使用する場合は、室温の設定は冷房時には28℃、暖房時には20℃を心がける。
- ・冷蔵庫は、設定温度を「強」から「中・弱」にし、開閉を短く、詰め込まないようにする。
- ・日中は照明を消して、夜間も出来るだけ減らす。
- ・テレビは、画面の明るさや、音量をおとし、つけっぱなしにしない。
- ・白熱電球を電球形蛍光灯やLED電球にかえる。  
（参照：マイアジェンダ登録 節電バージョン）



### 燃料電池自動車（FCV）

水の電気分解と逆に燃料電池でタンクに貯めた水素と空気中の酸素を化学反応させ、発電した電気エネルギーを使って、モーターを回して走る自動車です。

燃料電池自動車（FCV）の仕組み  
（出典：神奈川県 HP）



### エネルギー消費量の少ない住宅・建築物（ZEH・ZEB）

ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）・ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）は、年間に消費するエネルギー量とつくるエネルギー量がおおむねプラスマイナスゼロになるという住宅や建築物です。

太陽光発電などによってエネルギーを創出するとともに、省エネルギー設備やEMS等を組み合わせて無理なく消費エネルギー量を抑え、ゼロ・エネルギー化を図ります。

なお、国は、エネルギー基本計画で、2030（平成42）年までに新築住宅・建築物の平均でZEH・ZEBを実現することを目標として掲げています。

## ( 2 ) ごみ ( 廃棄物 )

### 行動宣言 2 3 R の取組を拡大します

持続可能な循環型社会を実現するためには、ごみ ( 廃棄物 ) を発生抑制するリデュース ( Reduce )、再使用するリユース ( Reuse )、再資源化するリサイクル ( Recycle ) の 3 R をすすめ、廃棄物の量をできるだけ減らすことが必要です。

#### 行動メニュー

##### 【個人】

😊	1	ごみの少なくなるものや長く使えるものを選んで購入します。
	2	食品の期限 ( 消費期限、賞味期限 ) 切れが起こらないようチェックし、調理時には食材や調理方法を工夫し、生ごみを出すときには水切りをするなど、生ごみの量をできるだけ減らします。
😊	3	マイ箸、マイボトル、マイバックなどを持参し、使い捨てのものはできるだけ使用を控えます。
	4	リユースショップやフリーマーケット等を積極的に活用して、リユースにつなげます。
	5	ごみは、それぞれの自治体のルールに従って分別して出し、紙や金属、容器包装、家電などのリサイクルにつなげます。
	6	生ごみや落ち葉はできるだけ堆肥化する等、有効利用に努めます。

##### 【企業・行政・団体】

		企業	行政	団体
1	3 R につながる情報を広く提供します。			
2	廃棄物発生量、削減量、リサイクル率の数値目標を設定します。			
3	製造から廃棄までのライフサイクルにおける環境負荷に関する情報を開示し、購入者に提供します。			
4	製品を製造する過程で、ライフサイクルアセスメントを考慮した環境配慮型デザイン <sup>5</sup> を行い、廃棄物の削減につなげます。			
5	建物や設備等を長期使用するため、耐久性の向上や修繕等によって、廃棄物の発生抑制につなげます。			
6	食品ロス <sup>6</sup> を削減する取組に協力します。			
7	生ごみ、落ち葉、剪定枝を分別し、燃料化、堆肥化、飼料化などのリサイクルを進めます。			
8	紙、金属、プラスチック等は、分別してリサイクルにつなげます。			

## 用語説明

### 5 環境配慮型デザイン

分解が容易であったり、リサイクルしやすいよう単一素材を使用したりするなど、製品等の設計段階において環境配慮を行うための手法のことです。環境適合デザインやエコデザインともいいます。（参照：平成 26 年版 環境・循環型社会・生物多様性白書）

### 6 食品ロス

まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。日本では、年間約 1,700 万トンの食品廃棄物が出されており、そのうち、食品ロスは年間 500～800 万トンで、これは米の年間収穫量に匹敵する量です。（参照：消費者庁 HP）

## 事例紹介

リユースショップの認証制度、リサイクル認定製品

神奈川県では、リユース品の売却や購入にあたって、安心してリユースショップを利用できるように、基準等を満たした店舗を認証する、「かながわりユースショップ認証」を行っています。

また、県内の廃棄物を原料としたリサイクル製品を認定する、「かながわりリサイクル製品認定」を行っており、環境に配慮したリサイクル製品の利用促進を図っています。



認証ステッカー（見本）  
（出典：神奈川県 HP）



かながわりリサイクル認定製品 認定マーク  
（出典：神奈川県 HP）

生ごみを資源とした自立循環型リサイクルループ（＝ヤサイクル）の構築

ヤサイクルでは、食品資源再生機器「生ごみ処理機」を事業者等へ販売し、生成された堆肥を引き取り、それを農家が使いやすい「ヤサイクル堆肥」にして農家に無償提供しています。さらに、その「ヤサイクル堆肥」を利用して収穫された野菜等の一部を購入し、ホテル・レストラン等へ販売しています。（参照：神奈川県 HP）



株式会社横須賀軽金の取組



## コラム

### 個人でできる3Rの取組

#### <リデュース>

- ・買い物をするときはマイバッグを持参する。
- ・必要な分だけ買う。
- ・過剰に包装したものは買わないようにしたり、品物の包装は簡単にしてもらおう。
- ・品物を選ぶときには、丈夫で長持ちしそうなものを選ぶ。



#### <リユース>

- ・リターナブル容器を選ぶようにする。
- ・不用になった服はリフォームしたり、フリーマーケットに出す。
- ・家電製品などが故障したとき、修理すれば使えるものであれば修理して使う。
- ・再生部品を用いた機器類を使う。



#### <リサイクル>

- ・市町村や地域単位で実施する古紙、びん、アルミ缶、スチール缶などの分別回収の取組に協力して、決められた場所に、決められた方法で物品を出す。



(参照：環境省 HP)

### 消費期限と賞味期限

消費期限とは、お弁当や生菓子、豆腐など長くは保存がきかない食品に表示しており、開封していない状態で、表示されている保存方法に従って保存したときに、食べても安全な期限を示しています。

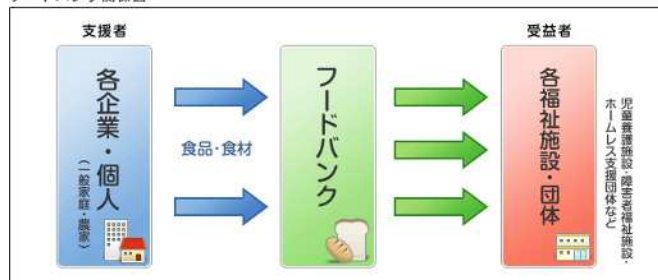
賞味期限とは、ハム・ソーセージやスナック菓子、缶詰など冷蔵や常温で保存がきく食品に表示してあります。開封していない状態で、表示されている保存方法にしたがって保存したときに、おいしく食べられる期限を示しており、賞味期限を過ぎても食べられなくなるとは限りません。(参照：農林水産省 HP)

### フードバンク

食品の製造・販売工程等で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設等へ無料で提供する団体・活動をフードバンクといいます。フードバンクにより食品ロスが削減されることで、環境負荷の低減効果が期待できます。

(参照：農林水産省 HP)

フードバンク関係図



## 行動宣言 3 廃棄物の適正処理を徹底します

発生した廃棄物が不適正に処理されると、環境汚染の原因となり、人間や生態系に悪影響を与えることがあります。良好な生活環境を守るためには、廃棄物の性質や状態に十分注意し、適正に処理することが必要です。

### 行動メニュー

#### 【個人】

1	廃棄物を出す場合には、自らの責任において、適正なルールに従います。
2	不法投棄 <sup>7</sup> を見つけた場合には自治体または警察署に通報します。

#### 【企業・行政・団体】

		企業	行政	団体
1	廃棄物を出す場合には、自らの責任において、適正処理を確保します。			
2	廃棄物の処理方法に関する情報を広く提供します。			
3	パトロールなどにより、不法投棄を防止します。			

### 用語説明

#### 7 不法投棄

不法投棄とは、自治体のルールに従わずみだりに廃棄物を捨てることをいい、景観を損ね、自然環境に多大な悪影響を及ぼします。不法投棄した場合には、法律により厳しく罰せられます。（参照：神奈川県 HP）

### 事例紹介

#### 不法投棄監視活動の実施

神奈川県は、不法投棄を許さない地域環境づくりをめざして、市町村や事業者等との連携によるパトロールや監視カメラによる監視活動を行っています。





コラム

各廃棄物への法・ガイドラインの対応状況

